

◆研究概要等

専門は実験心理学をベースとした知覚心理学の研究です。しかし、応用的な研究にも数多く関わってきました。ヒトと電気通信の基礎技術¹⁾や通信・放送²⁾関係では、3Dディスプレイとヒトの視覚応答、情報通信³⁾の分野では映像とニオイによる臨場感など、多岐にわたります。博士論文(論博)のタイトルも、およそ心理学の論文とは思えないような題名になっています⁴⁾。ようやく2007年に、「知覚」という用語を使った著書(単著)を出版したり⁵⁾、2009年には、「心」や「視覚心理」といったキーワードが入った著書(分担執筆)⁶⁾が出版され、ようやく心理学者らしくなりました。

現在は、「視知覚と眼球運動」⁷⁾や「運動視差による奥行き知覚」⁸⁾、といった本来の専門分野の実験研究を共同で行っています。しかし、相変わらず「日本語版嗅覚イメージ鮮明度質問紙の試作研究」や、「ドライビングシミュレータと心拍・呼吸反応」⁹⁾、「周辺視野への視覚刺激を用いた注意誘導」¹⁰⁾、「歩行者の視覚的気づき」¹¹⁾などの応用研究にも共同研究者として参加しています。

■研究テーマ等

両眼立体視の研究

ヒトを含め多くの動物は2つの眼を持っています。したがって3次元の世界の視覚像は両眼の網膜には、少しだけずれが生じます。これは一般には両眼視差(専門的には両眼網膜像差)とよばれています。一部の市販3Dディスプレイは、この手がかりをうまく利用して、見かけ上、奥行きが知覚されるように作られています。本研究室では、現在、3台の40インチ4Kディスプレイを利用して、3Dディスプレイを試作し、両眼立体視の研究を始めようとしています。Photo 1はその前段階として、1台のディスプ

心理系専攻
感覚・知覚研究室
教授

すさみけんじ
須佐見憲史

susami@socio.kindai.ac.jp



<http://researchmap.jp/susami>

<http://www.kindai.ac.jp/sociology/staff/psychology/>

<http://www.irc.atr.jp/member/>

レイでデモ用の3Dディスプレイを試作しようとしている写真です。

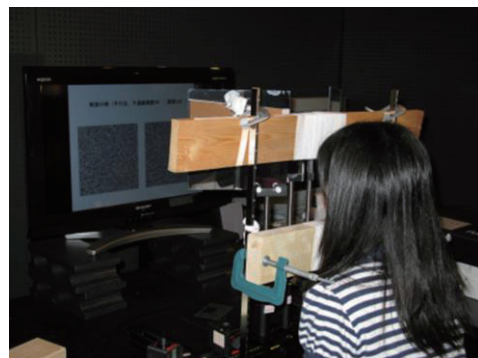


Photo 1. 一台のディスプレイから光学系(表面鏡)を使って3Dディスプレイを試作中。

他にも、「奥行き運動知覚」、「周辺視野への視覚刺激を用いた注意誘導」など、実験装置の環境整備とともに、主に奥行き知覚の研究を中心に進めようとしています。

●論文・作品・表彰・特許等

1) <http://ci.nii.ac.jp/nrid/9000004787831>

2) <http://ci.nii.ac.jp/nrid/9000004758962>

3) <http://ci.nii.ac.jp/nrid/9000006684491>

4) CiNii (NII 学術情報ナビゲータ) Dissertations-日本の博士論文をさがす, <http://ci.nii.ac.jp/d/search>
須佐見憲史 奥行運動の視覚情報処理過程, 中京大学, 博士 (心理学), 乙第5号, 1998-03-19.

5) 心理学モノグラフ, No. 31 須佐見憲史 奥行運動知覚の視覚情報処理過程,
<http://www.psych.or.jp/publication/monograph.html>, accessed July 30, 2016.

6) 「心の状態を測る」 視覚心理入門 -基礎から応用視覚まで- 第5章 5.1 畑田豊彦, 須佐見憲史
(担当:共著), オーム社, 2009年3月.

7) <http://ci.nii.ac.jp/nrid/9000319071235>

8) <http://ci.nii.ac.jp/nrid/9000237725641>

9) <http://ci.nii.ac.jp/nrid/9000296674756>

10) <http://ci.nii.ac.jp/nrid/9000319071345>

11) <http://ci.nii.ac.jp/nrid/9000318561125>

▲趣味等

趣味は、山歩きとジャズ鑑賞（オーディオも含む）です。

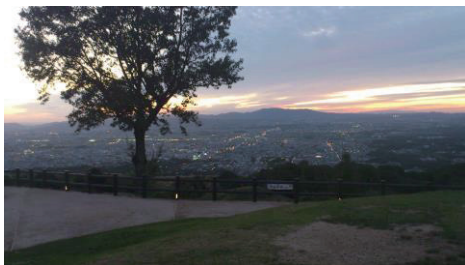


Photo 2. 柳生街道経由で春日奥山遊歩道を抜け夕暮れの若草山から奈良の街や生駒山を望む。奥行き知覚の手がかりが満載。



Photo 3. あるジャズバーにてピアノにもたれ、ジャズを聴きながら、ほっと一息（店主撮影）

◆ゼミの宣伝等

視覚、聴覚、嗅覚（ただしニオイ呈示はなし）、前庭系感覚などを中心に、多様な卒業論文のテーマを受け入れています。例えば、「両眼立体視と視野闘争」、「錯視研究」、「周辺視の動きと注意誘導や眼球運動」、「色覚」、「顔の知覚」、「視覚誘導性自己運動感覚（ベクション）」、「ラバーハンドイリュージョン」や「心理的時間」などのプロジェクト研究も行っています。